

A-7 焚火

- 「一人一人にそれぞれのフツウ」
- 自分で感じ・考え・選び・決める・行動する
- 視覚的・具体的・肯定的なコミュニケーション

取組み	①健康・生活	②運動・感覚	③認知・行動	④言語・コミュニケーション	⑤人間関係・社会性	家族支援	地域支援
導入	■スタッフから、「これからおやつを作るため、焚火をします」と投げかける。■焚火の経験を思い出す。■いつ、どんな時に、どこで、何のために焚火をしたのか？■その時どんな気持ちになったのか？			■焚火の経験や気持ちを言葉・身振り・踊り・歌でみんなに伝えてみる。■他者の言葉・身振り・踊り・歌にも耳を傾ける、受け取る。■みんなで一緒に踊る・歌い、気持ちを共有する。		■オープンフィールドのメニューとし、ご家族と一緒に焚火を楽しむ。■子どもたちの様子・スタッフの様子を見てもらう。■スタッフとご家族とのレポート形成の機会とする。	■焚火については、奈良県では原則禁止。焚火をする場合は西和消防署への届出が必要であり、どうこいは西和消防署の指導のもと焚火の際の遵守事項を定めている。■森での活動は、地主さんとの契約、地域のご理解があって、可能となっている。■子どもたちが「自分たちがやりたいことなら何でも許される」わけではないことを確認する。■万一、契約に違反したり、山火事など地域に損害を与えるようなことをした場合は、フィールドとしてお借りすることも活動を続けることも出来なくなる。このことも確認する。■地主さん、消防署への感謝を忘れず活動を続けていくことも共有する。
焚火に必要なものは？	■焚火の経験から、火種は何だったか、何を燃やしたか、火力をコントロールするのにどんな道具を使ったか、消すときはどうしていたかを思い出し、イメージする。			■イメージしたものを言葉にしてみんなに伝える。■他者の言葉にも耳を傾ける。	■みんなの考えを集約・調整して必要なものリストを作る。		
必要なものを集める① 燃料集め	■焚火の経験から、どんなものを燃やしていたかを思い出す。	■各々、燃えそうに感じる物を集める。■不整地・斜面を移動するので転倒転落しないよう注意する。	■みんなが集めてきたものを分類する。大きさ、長さ、含水率…分類の条件を考える。	■自分が考えた「分類の条件」を言葉にしてみんなに伝える。■他者の考えにも耳を傾ける。	■みんなの意見を調整して分類の条件を決め、分類する。		
必要なものを集める② 火種・消火グッズ・その他	■リストに基づいて、必要なものを集める。■スタッフから借りなければならないものは、スタッフにお願いして貸してもらおう。■困ったら助けを求める。■助けを求められたら応じる。			■貸してもらったときに、お礼をいう。			
着火① 焚き付けを組む	■焚火についてはスタッフの指示に従う。■焚火場の底からロストルに向かって空気が吹きあがるように掃除をする。■焚き付けを組む。細い枝で小さく組む。小さい火から大きい火へと育てる。■必要に応じて鋸・剪定鋏を使う。■刃が当たると切れるので自他の怪我に注意。			■困ったときは助けを求める。■助けを求められたら応じる。	■助けてもらったら、お礼をいう。		
着火② 火を着ける	■焚き付けの中に新聞紙を入れ、■ライター・マッチ・火打ち石等で着火する。■火傷に注意。			■困ったときは助けを求める。■助けを求められたら応じる。	■助けてもらったら、お礼をいう。		
火の管理をする	■徐々に太い木を足して、火を大きくする。■必要に応じて鋸で薪を切る。■太いものは鉋と横槌で割る。■火傷を避けるため、火の真上や風下から薪を入れない。火ばさみも火の真上から使用しない。必ず横から、風上から。■手袋や衣服は化学繊維のものは燃えやすく溶けやすいので使用しない。■焚火中の注意点は別紙参照。			■スタッフは、行為の理由について科学的に、丁寧に説明する。教え込む、ではなく、子どもたちに「何でやと思う？」と問いを投げかける。■子どもたちは、「何故？」や発見や驚きを言葉にしてみんなに伝える。■他者の問いに、みんなで耳を傾け、答えを考える。			
焼きおにぎりを作る	■焚火で調理をしたことを思い出す。	■経験を基にどうやれば焚火でお結びを焼きおにぎりにできるか考える。	■考えを言葉にしてみんなに伝える。■他者の意見にも耳を傾ける。■みんなで相談しながら、■色々な方法を試してみる。				

火を小さくする			<ul style="list-style-type: none"> <li>■帰る時間を逆算し、</li> <li>■焚火を小さくしていく。</li> <li>■その方法を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■考えを言葉にしてみんなに伝える。</li> <li>■他者の意見にも耳を傾ける。</li> <li>■みんなで相談しながら、</li> <li>■色々な方法を試してみる。</li> </ul>		
消火		<ul style="list-style-type: none"> <li>■水を運び、</li> <li>■火に水をかける。</li> <li>■煙や蒸気が上がらない状態になるまで水をかける。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■焚火の鎮火状況を見ながら、水のかけ方・量を判断する。</li> <li>■お互い思ったことを言葉にして伝え合い、相談しながら、消火活動をする。</li> <li>■最終判断はスタッフが行う。</li> <li>■完全消化後、鉄板で蓋をし、ブロックを乗せる。</li> </ul>		
片付け		<ul style="list-style-type: none"> <li>■リストに準じて、借りた物品をスタッフにチェックしてもらい、泥を落として所定の場所に収める。</li> <li>■困ったら助けを求める。</li> <li>■助けを求められたら応じる。</li> <li>■返却後、スタッフにお礼をいう。</li> </ul>				